専門学校　長野自動車大学校

**令 和 7 年 度**

# 第１回学校関係者評価委員会

# 議　事　録

期 日　令 和　8　年　3　月 6 日　（金）

場 所　黒木学園 本部

学校法人黒木学園　専門学校長野自動車大学校

**学校関係者評価委員**

専門学校　長野自動車大学校

# 令和 6 年度　学校関係者評価委員会　議事録

日時：令和 7 年 3 月 6 日　17:00～18:00

## I. 会議の開催概要

**学校自らが行う自己評価の結果を評価することを基本として行う学校関係者評価の実施及び公表を行い，その評価結果を踏まえた教育活動，その他の学校運営の改善に活用する。**

## II. 出席者

三沢徳則：長野日産自動車株式会社
谷川哲也：長野県自動車整備振興会
宮本武　：株式会社スズキ自販長野
田原直樹：株式会社長野ダイハツモータース
春原秋夫：長野県専修学校各種学校連合会
宮島英輔：長野自動車大学校
竹内章夫：長野自動車大学校
松本拓実：カレッジオブキャリア
宮澤圭輔：長野自動車大学校
廣瀬大陸：長野自動車大学校

## III. 議事の承認

三沢徳則：長野日産自動車株式会社
谷川哲也：長野県自動車整備振興会
宮本武　：株式会社スズキ自販長野
田原直樹：株式会社長野ダイハツモータース
春原秋夫：長野県専修学校各種学校連合会
宮島英輔：長野自動車大学校
竹内章夫：長野自動車大学校
松本拓実：カレッジオブキャリア
宮澤圭輔：長野自動車大学校
廣瀬大陸：長野自動車大学校

**IV. 開会挨拶**　（黒木学園　宮島）

令和 7 年度第 1 回学校関係者評価委員会・第 2 回教育課程編成委員会を始めさせていただきたいと思います。

**V. 学校長挨拶**　（黒木学園　宮島）

厳しい中だが，来年度も運営できる人数が集まった。
現在高校で募集を行う中で一人一人説得して回るような形の募集方法を取っている。
それをやるには他より良い理由が無ければできないが，私たちには一つ確実な理由があり，「就職が良い」，「大きな会社に入れる」学校だということを伝えている。
その部分で選んでくれる学生も沢山いる。就職先があるのも皆様方のおかげであり，本当にありがたく思っております。
他学科ではそれほど強く言えない状況なので自動車科以外も就職を揃えなくてはいけないと思っている。
自動車大学校に関してはこれが間違いなく武器だと思っております。皆様方いらっしゃらなければ私たちもそういった説明ができないので本当にありがたく思っています。
今後安定して入学希望者が出るというところまで行かないと安心してはいけないと思う。
この先を考えると，「長野の整備業界いいよね」と県の方に評価を受けるような風になればいいなと思っている。私たちの学校に入ってくれた子達が皆さんの会社で幸せな生活を送れる事になるとすごく良いと思う。
大きな会社に入れて，更に役職につくチャンスもある会社はなかなか少ないと思う。
「この業界がいい」，「この学校がいい」という評価を受けるとたくさんの方に入っていただけるんじゃないかと思う。そういったチャンスを今感じており，その部分を強みにしていきたい。
これまでやってきた募集方法は学生が多くいる中でやってこれた方法であり，ここからは新しい募集に入らなくてはいけないので，色々ご指導いただければと思いますのでよろしくお願いします。

**VI. 学校評価について（配布資料参考）**　（黒木学園　宮島）

a)学校の教育目標について
職業に必要な知識技術を身につけそれを資格免許として示し人間的な魅力に溢れた職場で活躍できる職業人を育成する。
課題については最近の新しい時代に合わせた，過去の目的から切り替えて今の目的を再認識し，育成する人材育成像を明確にして学校の変革を行う。今までと同じことを続けてしまうと時代に取り残されてしまうので，学校を変えようと数年間かけて取り組んでいる途中。

b)教育理念・目的・人材育成について　（黒木学園　宮島）

良い自己評価である。

課題は現代の時代に合わせた目標設定をもっと分かりやすく，明確にしていきたいと思っている。

c)学校運営について　（黒木学園　宮島）

全体として良い自己評価である。

何かあった場合でも第三者に説明できるようになっている。

情報システム化について更に強化をしていく必要があると感じている。

d)教育活動について　（黒木学園　宮島）

職員が直接やっている部門は評価が良い。

担当が決まっている部門については担当以外の評価が下がってしまう。全職員へ方向性を周知しなければいけなかったと思っている。評価が低い部分については努力していきたい。

「人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか」について，職員の数が少なく，時間に余裕がないことが 3 という評価になっていると感じる。

業界等の連携について私の方から伝えていき，3 である部分を改善していきたいと思う 。

e)学修成果について　（黒木学園　宮島）

担任が主に見ているので就職率，資格取得の向上は 4 がついている。

退学率は 3 になっている。学力についていけず，退学してしまう学生が多く，それを止められないジレンマになり，3 になっていると思う 。

卒業生との連携がなかなか取れず，直接企業の方にどのように活躍してるのか，今元気でやっているのかという話をレポートすればいいが，個々に担任が卒業生に電話をしたり，学校に来た時に情報を得てるという状況ですので実際の全員を周知できないところで 3 がついてると思う。

企業の中で早期退社してしまった情報などもいただければ，より卒業後の支援もできると思っておりますのでご協力よろしくお願いいたします

ｆ)学生支援について　（黒木学園　宮島）

就職支援は企業様との連携で私どもは早い段階から就職活動の意識付けをしている。1 年時に 9 割位が就職内定をいただいてる状況になっており，それに合わせた支援をしているので評価の方は高いと思う。

学生の健康管理を担うところは 3 とついているが，健康診断を行い，体調不良時などは体温を測ってやっていたのでもう少し良いと思っていたが，足りない部分は対応していきたいと思う。

保護者との連携については担任を含めよくやってくれている。
体調面，勉強面，遅刻欠席などについて保護者に連絡しているので，理解をして取り組んでいると思う。
卒業生の支援体制については，状況がわからない部分が多いので改善していきたい。

ｇ)学生の受け入れ募集について　（黒木学園　宮島）
ここ２年間うまくいき，良い評価がついている。

ｈ)財務について　（黒木学園　宮島）
いい評価がついている。

ｉ)法令等の遵守について　（黒木学園　宮島）
すごく気にして守っている。

ｊ)社会貢献・地域貢献について　（黒木学園　宮島）
私たちの貢献方法は無料でボランティアを行うわけではなく，一般の方に来ていただき，日常点検の方法を教えたり，自動車施設の見学を行ったりしている。
学生のボランティアは業界を通じて貢献している。

質疑応答
質疑：委員 A
自己評価の点数が低い部分の問題点について，共有を行う場を設けるように考えているのか。
応答：黒木学園　宮島
春の会議で説明しているが甘い部分があるので改善したい。
質疑：委員 C
学生支援の中で，生活環境の支援とは具体的にどのようなことなのか。
応答：黒木学園　宮島
自然災害などの被害が大きい場合に補助金を出すなどを指していると思う。
学費を免除したり，食材を提供するというわけでない。
学校内では学費を分割にしたりなど対応している。
質疑：委員 D
カリキュラムの改良に時間がかかることについて，テキストの改定が予定されているため大きく変わる内容であり，時間がかかるものだと思って進めてもらいたい。

質疑：委員Ｅ
退学率について，卒業率９０％ということだが，具体的に何名位退学するのか。
応答：黒木学園　宮島
少ないときで２～３名，多いときで７～８名です。
ほとんどが学習意欲が低下し，一年次の後期で辞めてしまうことが多い。
本人の意欲があれば試験も合格しやすいよう準備しているが，それをやらずに退学するケースが多い。
質疑：委員Ｅ
精神的なことが原因で辞める学生もいるのか。
応答：黒木学園　宮島
います。最近不登校の方が多くて，大人数の中では難しいという理由もいる。
質疑：委員Ｅ
研修はハラスメントについてなどの研修も行っているのか。

応答：黒木学園　宮島
研修という形ではなく，会議や注意という方法で行っている。

以上で第一部の方を終了させていただきます。　（黒木学園　宮島）

令和７年度自己評価報告書　学校関係者評価委員用

# 学校関係者評価委員A

＜学校の教育目標＞

職業に必要な知識・技術を身に付け、それを資格・免許として示し、人間的な魅力にあふれた、職場で活躍できる職業人を育成する。

＜今年度の重要課題＞

新しい時代に合わせ、目的を再確認し、育成する人材育成像を明確にし、学校の変革を行う。

＜評価項目の達成及び取組状況＞　評価基準は４（適切）３（ほぼ適切）２（やや不適切）１（不適切）

| 【教育理念・目的・人材育成像】 | 評価 |
|---|---|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 4 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | 4 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 4 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか | 4 |
| ・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 3 |

課題　時代に合わせた目標の設定。教員の自己満足の教育にならないようにニーズを正確に理解する。

改善方策　学生や保護者が学校に求めるものは何なのかを理解し、社会の情勢に合わせた変革を行う。

特記事項

| 【学校運営】 | 評価 |
|---|---|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 |
| ・人事、給与に関する規程等は整備されているか | 4 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3 |

課題　　情報システムの導入。個人の理解差は改善されてきた。

改善方策　新技術の積極的な導入

特記事項

| 【教育活動】 | 評価 |
|---|---|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 4 |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 4 |

| | |
|---|---|
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 3 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 3 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 |
| 課題　カリキュラムを魅力的なものに変更したい。 | |
| 改善方策　個人の変更を恐れず積極的に変えていく姿勢 | |
| 特記事項 | |

| 【学修成果】 | 評価 |
|---|---|
| ・就職率の向上が図られているか | 4 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 4 |
| ・退学率の低減が図られているか | 4 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3 |
| 課題　カリキュラムの変更をし、授業の変更を行いたい。 | |
| 改善方策　カリキュラムは授業の大元の形であり、変更は授業の大幅な改良となる。授業の細かい内容は常に変更をさせ、熟成していく必要がある。 | |
| 特記事項 | |

| 【学生支援】 | 評価 |
|---|---|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 3 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 3 |
| ・保護者と適切に連携しているか | 4 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 4 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 |
| 課題　当校としての支援は行っている。学生支援に対しての専門の部署や決まった活動がない。 | |
| 改善方策　当校の一番の長所であるきめ細かい指導が発揮できる部分であり、部署や活動よりもきめ細かく行っている。 | |
| 特記事項　自己の判断で行う場合に個人差があるため、ある程度のルール化は必要 | |

| 【教育環境】 | 評価 |
|---|---|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 |

| | |
|---|---|
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか | 3 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 4 |
| 課題　授業に必要なものはそろっているが、募集関連の設備が弱い。 | |
| 改善方策　どんどん変えていく。学校を楽しい空間にする。 | |
| 特記事項 | |

| 【学生の受入れ募集】 | 評価 |
|---|---|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか | 4 |
| ・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか | 4 |
| ・学生納付金は妥当なものとなっているか 等 | 4 |
| 課題　募集は当校のスキルで頑張っているが、安定した状況にしたい。 | |
| 改善方策　教育が評価されれば募集活動は軽減される。教育内容での評価を得たい。 | |
| 特記事項 | |

| 【財 務】 | 評価 |
|---|---|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | 4 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |
| 課題　安定した入学生の確保。 | |
| 改善方策　地域に必要な学校になり、毎年安定した入学者がいる学校にする。 | |
| 特記事項 | |

| 【法令等の遵守】 | 評価 |
|---|---|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 |
| ・自己評価結果を公開しているか | 4 |
| 課題　　法令は遵守している。 | |
| 改善方策　常に法律と現状の確認を各教員レベルで行う。 | |
| 特記事項 | |

| 【社会貢献・地域貢献】 | 評価 |
|---|---|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | ~~4~~ 3 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3 |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 |
| 課題　分かりやすい地域貢献がしにくい教育内容である。 | |
| 改善方策　当校の社会貢献は業界を通じてになるため、業界との関連を深め活動したい。 | |
| 特記事項 | |

令和７年度自己評価報告書　学校関係者評価委員用

# 学校関係者評価委員B

＜学校の教育目標＞

職業に必要な知識・技術を身に付け、それを資格・免許として示し、人間的な魅力にあふれた、職場で活躍できる職業人を育成する。

＜今年度の重要課題＞

新しい時代に合わせ、目的を再確認し、育成する人材育成像を明確にし、学校の変革を行う。

＜評価項目の達成及び取組状況＞　評価基準は４（適切）３（ほぼ適切）２（やや不適切）１（不適切）

| 【教育理念・目的・人材育成像】 | 評価 |
|---|---|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 4 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | 4 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 4 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか | 4 |
| ・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 |

課題　時代に合わせた目標の設定。教員の自己満足の教育にならないようにニーズを正確に理解する。

改善方策　学生や保護者が学校に求めるものは何なのかを理解し、社会の情勢に合わせた変革を行う。

特記事項

| 【学校運営】 | 評価 |
|---|---|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 |
| ・人事、給与に関する規程等は整備されているか | 4 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3 |

課題　　情報システムの導入。個人の理解差は改善されてきた。

改善方策　新技術の積極的な導入

特記事項

| 【教育活動】 | 評価 |
|---|---|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 4 |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 4 |

| | |
|---|---|
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 |
| 課題　カリキュラムを魅力的なものに変更したい。 | |
| 改善方策　個人の変更を恐れず積極的に変えていく姿勢 | |
| 特記事項 | |

| 【学修成果】 | 評価 |
|---|---|
| ・就職率の向上が図られているか | 4 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 4 |
| ・退学率の低減が図られているか | 4 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 4 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 |
| 課題　カリキュラムの変更をし、授業の変更を行いたい。 | |
| 改善方策　カリキュラムは授業の大元の形であり、変更は授業の大幅な改良となる。授業の細かい内容は常に変更をさせ、熟成していく必要がある。 | |
| 特記事項 | |

| 【学生支援】 | 評価 |
|---|---|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 4 |
| ・保護者と適切に連携しているか | 4 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 4 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 |
| 課題　当校としての支援は行っている。学生支援に対しての専門の部署や決まった活動がない。 | |
| 改善方策　当校の一番の長所であるきめ細かい指導が発揮できる部分であり、部署や活動よりもきめ細かく行っている。 | |
| 特記事項　自己の判断で行う場合に個人差があるため、ある程度のルール化は必要 | |

| 【教育環境】 | 評価 |
|---|---|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 |

| | |
|---|---|
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか | 3 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 4 |
| 課題　授業に必要なものはそろっているが、募集関連の設備が弱い。 | |
| 改善方策　どんどん変えていく。学校を楽しい空間にする。 | |
| 特記事項 | |

| 【学生の受入れ募集】 | 評価 |
|---|---|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか | 4 |
| ・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか | 4 |
| ・学生納付金は妥当なものとなっているか 等 | 4 |
| 課題　募集は当校のスキルで頑張っているが、安定した状況にしたい。 | |
| 改善方策　教育が評価されれば募集活動は軽減される。教育内容での評価を得たい。 | |
| 特記事項 | |

| 【財 務】 | 評価 |
|---|---|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | 4 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |
| 課題　安定した入学生の確保。 | |
| 改善方策　地域に必要な学校になり、毎年安定した入学者がいる学校にする。 | |
| 特記事項 | |

| 【法令等の遵守】 | 評価 |
|---|---|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 |
| ・自己評価結果を公開しているか | 4 |
| 課題　　法令は遵守している。 | |
| 改善方策　常に法律と現状の確認を各教員レベルで行う。 | |
| 特記事項 | |

| 【社会貢献・地域貢献】 | 評価 |
|---|---|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 |
| 課題　分かりやすい地域貢献がしにくい教育内容である。 | |
| 改善方策　当校の社会貢献は業界を通じてになるため、業界との関連を深め活動したい。 | |
| 特記事項 | |

令和７年度自己評価報告書　学校関係者評価委員用

# 学校関係者評価委員C

＜学校の教育目標＞

職業に必要な知識・技術を身に付け、それを資格・免許として示し、人間的な魅力にあふれた、職場で活躍できる職業人を育成する。

＜今年度の重要課題＞

新しい時代に合わせ、目的を再確認し、育成する人材育成像を明確にし、学校の変革を行う。

＜評価項目の達成及び取組状況＞　評価基準は４（適切）３（ほぼ適切）２（やや不適切）１（不適切）

| 【教育理念・目的・人材育成像】 | 評価 |
|---|---|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 4 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | 4 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 4 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか | 3 |
| ・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 |

課題　時代に合わせた目標の設定。教員の自己満足の教育にならないようにニーズを正確に理解する。

改善方策　学生や保護者が学校に求めるものは何なのかを理解し、社会の情勢に合わせた変革を行う。

特記事項

| 【学校運営】 | 評価 |
|---|---|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 |
| ・人事、給与に関する規程等は整備されているか | 4 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3 |

課題　　情報システムの導入。個人の理解差は改善されてきた。

改善方策　新技術の積極的な導入

特記事項

| 【教育活動】 | 評価 |
|---|---|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 4 |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 4 |

| | |
|---|---|
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | 3 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 3 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 3 |
| 課題　カリキュラムを魅力的なものに変更したい。 | |
| 改善方策　個人の変更を恐れず積極的に変えていく姿勢 | |
| 特記事項 | |

| 【学修成果】 | 評価 |
|---|---|
| ・就職率の向上が図られているか | 4 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 4 |
| ・退学率の低減が図られているか | 4 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3 |
| 課題　カリキュラムの変更をし、授業の変更を行いたい。 | |
| 改善方策　カリキュラムは授業の大元の形であり、変更は授業の大幅な改良となる。授業の細かい内容は常に変更をさせ、熟成していく必要がある。 | |
| 特記事項 | |

| 【学生支援】 | 評価 |
|---|---|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 3 |
| ・保護者と適切に連携しているか | 4 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 4 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 3 |
| 課題　当校としての支援は行っている。学生支援に対しての専門の部署や決まった活動がない。 | |
| 改善方策　当校の一番の長所であるきめ細かい指導が発揮できる部分であり、部署や活動よりもきめ細かく行っている。 | |
| 特記事項　自己の判断で行う場合に個人差があるため、ある程度のルール化は必要 | |

| 【教育環境】 | 評価 |
|---|---|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 |

| | |
|---|---|
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか | 3 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 4 |
| 課題　授業に必要なものはそろっているが、募集関連の設備が弱い。 | |
| 改善方策　どんどん変えていく。学校を楽しい空間にする。 | |
| 特記事項 | |

| 【学生の受入れ募集】 | 評価 |
|---|---|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか | 4 |
| ・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか | 4 |
| ・学生納付金は妥当なものとなっているか 等 | 4 |
| 課題　募集は当校のスキルで頑張っているが、安定した状況にしたい。 | |
| 改善方策　教育が評価されれば募集活動は軽減される。教育内容での評価を得たい。 | |
| 特記事項 | |

| 【財 務】 | 評価 |
|---|---|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | 4 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |
| 課題　安定した入学生の確保。 | |
| 改善方策　地域に必要な学校になり、毎年安定した入学者がいる学校にする。 | |
| 特記事項 | |

| 【法令等の遵守】 | 評価 |
|---|---|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 |
| ・自己評価結果を公開しているか | 4 |
| 課題　　法令は遵守している。 | |
| 改善方策　常に法律と現状の確認を各教員レベルで行う。 | |
| 特記事項 | |

| 【社会貢献・地域貢献】 | 評価 |
|---|---|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3 |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 3 |
| 課題　分かりやすい地域貢献がしにくい教育内容である。 | |
| 改善方策　当校の社会貢献は業界を通じてになるため、業界との関連を深め活動したい。 | |
| 特記事項 | |

令和７年度自己評価報告書　学校関係者評価委員用

# 学校関係者評価委員D

＜学校の教育目標＞

職業に必要な知識・技術を身に付け、それを資格・免許として示し、人間的な魅力にあふれた、職場で活躍できる職業人を育成する。

＜今年度の重要課題＞

新しい時代に合わせ、目的を再確認し、育成する人材育成像を明確にし、学校の変革を行う。

＜評価項目の達成及び取組状況＞　評価基準は４（適切）３（ほぼ適切）２（やや不適切）１（不適切）

| 【教育理念・目的・人材育成像】 | 評価 |
|---|---|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 3 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | 3 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 4 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか | 3 |
| ・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 3 |

課題　時代に合わせた目標の設定。教員の自己満足の教育にならないようにニーズを正確に理解する。

改善方策　学生や保護者が学校に求めるものは何なのかを理解し、社会の情勢に合わせた変革を行う。

特記事項

| 【学校運営】 | 評価 |
|---|---|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 3 |
| ・人事、給与に関する規程等は整備されているか | 3 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 3 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 3 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3 |

課題　　情報システムの導入。個人の理解差は改善されてきた。

改善方策　新技術の積極的な導入

特記事項

| 【教育活動】 | 評価 |
|---|---|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 3 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 3 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 3 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 3 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 4 |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 3 |

| | |
|---|---|
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 3 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 3 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 3 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 3 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 3 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 3 |
| 課題　カリキュラムを魅力的なものに変更したい。 | |
| 改善方策　個人の変更を恐れず積極的に変えていく姿勢 | |
| 特記事項 | |

| 【学修成果】 | 評価 |
|---|---|
| ・就職率の向上が図られているか | 4 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 4 |
| ・退学率の低減が図られているか | 3 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3 |
| 課題　カリキュラムの変更をし、授業の変更を行いたい。 | |
| 改善方策　カリキュラムは授業の大元の形であり、変更は授業の大幅な改良となる。授業の細かい内容は常に変更をさせ、熟成していく必要がある。 | |
| 特記事項 | |

| 【学生支援】 | 評価 |
|---|---|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 3 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 3 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 3 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 3 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 3 |
| ・保護者と適切に連携しているか | 3 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 3 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 3 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 3 |
| 課題　当校としての支援は行っている。学生支援に対しての専門の部署や決まった活動がない。 | |
| 改善方策　当校の一番の長所であるきめ細かい指導が発揮できる部分であり、部署や活動よりもきめ細かく行っている。 | |
| 特記事項　自己の判断で行う場合に個人差があるため、ある程度のルール化は必要 | |

| 【教育環境】 | 評価 |
|---|---|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3 |

| | |
|---|---|
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか | ○ |
| ・防災に対する体制は整備されているか | ○ |
| 課題　授業に必要なものはそろっているが、募集関連の設備が弱い。 | |
| 改善方策　どんどん変えていく。学校を楽しい空間にする。 | |
| 特記事項 | |

| 【学生の受入れ募集】 | 評価 |
|---|---|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか | ○ |
| ・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか | ○ |
| ・学生納付金は妥当なものとなっているか 等 | ○ |
| 課題　募集は当校のスキルで頑張っているが、安定した状況にしたい。 | |
| 改善方策　教育が評価されれば募集活動は軽減される。教育内容での評価を得たい。 | |
| 特記事項 | |

| 【財 務】 | 評価 |
|---|---|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | ○ |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | ○ |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | ○ |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | ○ |
| 課題　安定した入学生の確保。 | |
| 改善方策　地域に必要な学校になり、毎年安定した入学者がいる学校にする。 | |
| 特記事項 | |

| 【法令等の遵守】 | 評価 |
|---|---|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | ○ |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | ○ |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | ○ |
| ・自己評価結果を公開しているか | ○ |
| 課題　　法令は遵守している。 | |
| 改善方策　常に法律と現状の確認を各教員レベルで行う。 | |
| 特記事項 | |

| 【社会貢献・地域貢献】 | 評価 |
|---|---|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | ○ |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | ○ |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | ○ |
| 課題　分かりやすい地域貢献がしにくい教育内容である。 | |
| 改善方策　当校の社会貢献は業界を通じてになるため、業界との関連を深め活動したい。 | |
| 特記事項 | |

令和７年度自己評価報告書　学校関係者評価委員用

# 学校関係者評価委員E

＜学校の教育目標＞

職業に必要な知識・技術を身に付け、それを資格・免許として示し、人間的な魅力にあふれた、職場で活躍できる職業人を育成する。

＜今年度の重要課題＞

新しい時代に合わせ、目的を再確認し、育成する人材育成像を明確にし、学校の変革を行う。

＜評価項目の達成及び取組状況＞　評価基準は４（適切）３（ほぼ適切）２（やや不適切）１（不適切）

| 【教育理念・目的・人材育成像】 | 評価 |
|---|---|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 4 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | 4 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 4 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか | 4 |
| ・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 |

課題　時代に合わせた目標の設定。教員の自己満足の教育にならないようにニーズを正確に理解する。

改善方策　学生や保護者が学校に求めるものは何なのかを理解し、社会の情勢に合わせた変革を行う。

特記事項

| 【学校運営】 | 評価 |
|---|---|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 |
| ・人事、給与に関する規程等は整備されているか | 4 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3 |

課題　　情報システムの導入。個人の理解差は改善されてきた。

改善方策　新技術の積極的な導入

特記事項

| 【教育活動】 | 評価 |
|---|---|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 4 |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 4 |

| | |
|---|---|
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 3 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 3 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 |
| 課題　カリキュラムを魅力的なものに変更したい。 | |
| 改善方策　個人の変更を恐れず積極的に変えていく姿勢 | |
| 特記事項 | |

| 【学修成果】 | 評価 |
|---|---|
| ・就職率の向上が図られているか | 4 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 4 |
| ・退学率の低減が図られているか | 4 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3 |
| 課題　カリキュラムの変更をし、授業の変更を行いたい。 | |
| 改善方策　カリキュラムは授業の大元の形であり、変更は授業の大幅な改良となる。授業の細かい内容は常に変更をさせ、熟成していく必要がある。 | |
| 特記事項 | |

| 【学生支援】 | 評価 |
|---|---|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 3 |
| ・保護者と適切に連携しているか | 4 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 4 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 |
| 課題　当校としての支援は行っている。学生支援に対しての専門の部署や決まった活動がない。 | |
| 改善方策　当校の一番の長所であるきめ細かい指導が発揮できる部分であり、部署や活動よりもきめ細かく行っている。 | |
| 特記事項　自己の判断で行う場合に個人差があるため、ある程度のルール化は必要 | |

| 【教育環境】 | 評価 |
|---|---|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 |

| | |
|---|---|
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか | 4 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 4 |
| 課題　授業に必要なものはそろっているが、募集関連の設備が弱い。 | |
| 改善方策　どんどん変えていく。学校を楽しい空間にする。 | |
| 特記事項 | |

| 【学生の受入れ募集】 | 評価 |
|---|---|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか | 4 |
| ・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか | 4 |
| ・学生納付金は妥当なものとなっているか 等 | 4 |
| 課題　募集は当校のスキルで頑張っているが、安定した状況にしたい。 | |
| 改善方策　教育が評価されれば募集活動は軽減される。教育内容での評価を得たい。 | |
| 特記事項 | |

| 【財 務】 | 評価 |
|---|---|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | 4 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |
| 課題　安定した入学生の確保。 | |
| 改善方策　地域に必要な学校になり、毎年安定した入学者がいる学校にする。 | |
| 特記事項 | |

| 【法令等の遵守】 | 評価 |
|---|---|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 |
| ・自己評価結果を公開しているか | 4 |
| 課題　　法令は遵守している。 | |
| 改善方策　常に法律と現状の確認を各教員レベルで行う。 | |
| 特記事項 | |

| 【社会貢献・地域貢献】 | 評価 |
|---|---|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3 |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 |
| 課題　分かりやすい地域貢献がしにくい教育内容である。 | |
| 改善方策　当校の社会貢献は業界を通じてになるため、業界との関連を深め活動したい。 | |
| 特記事項 | |